

本海野減圧弁移設工事
実施設計図

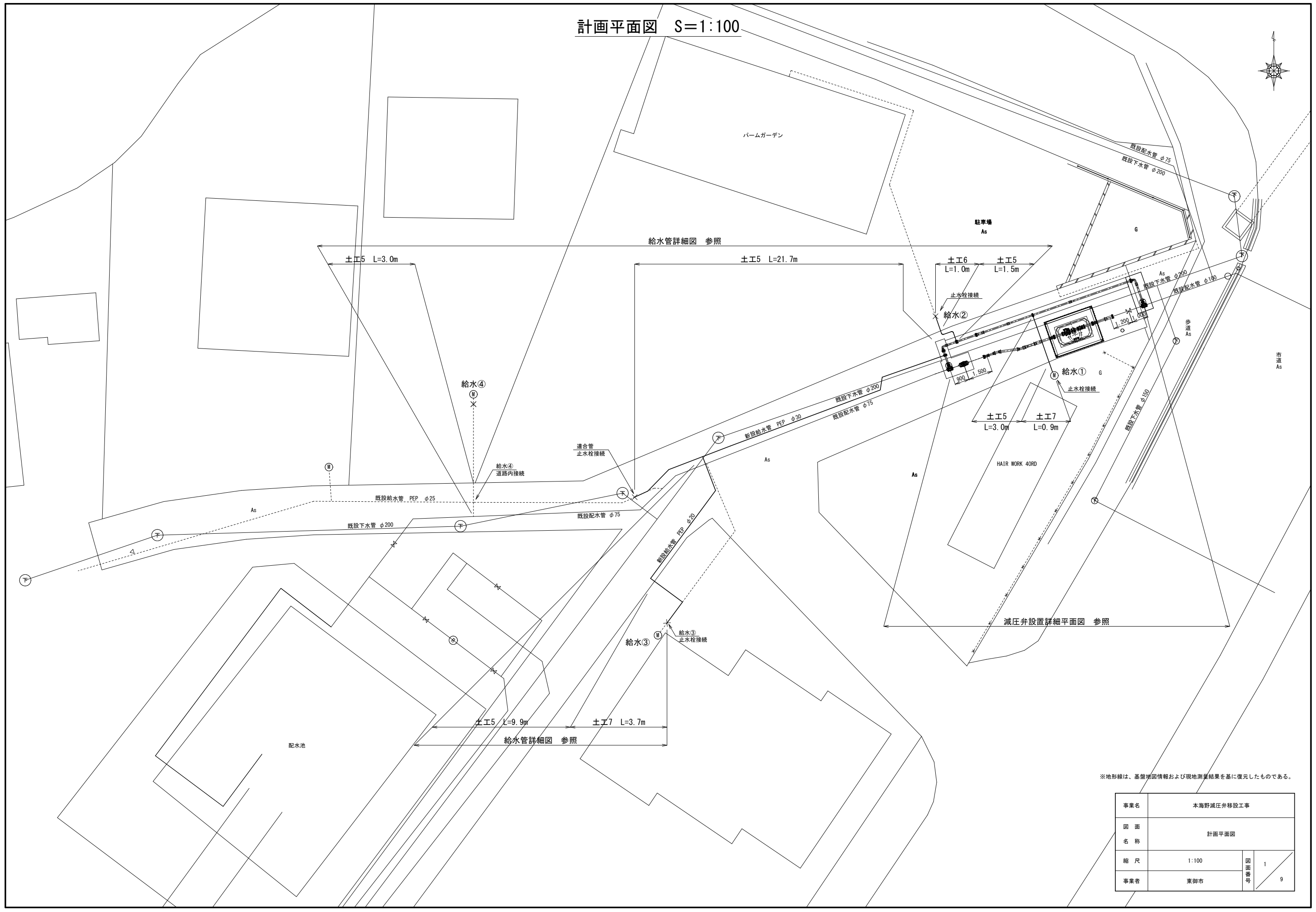
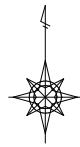
東御市

目 次

本海野減圧弁移設工事

[illegible]

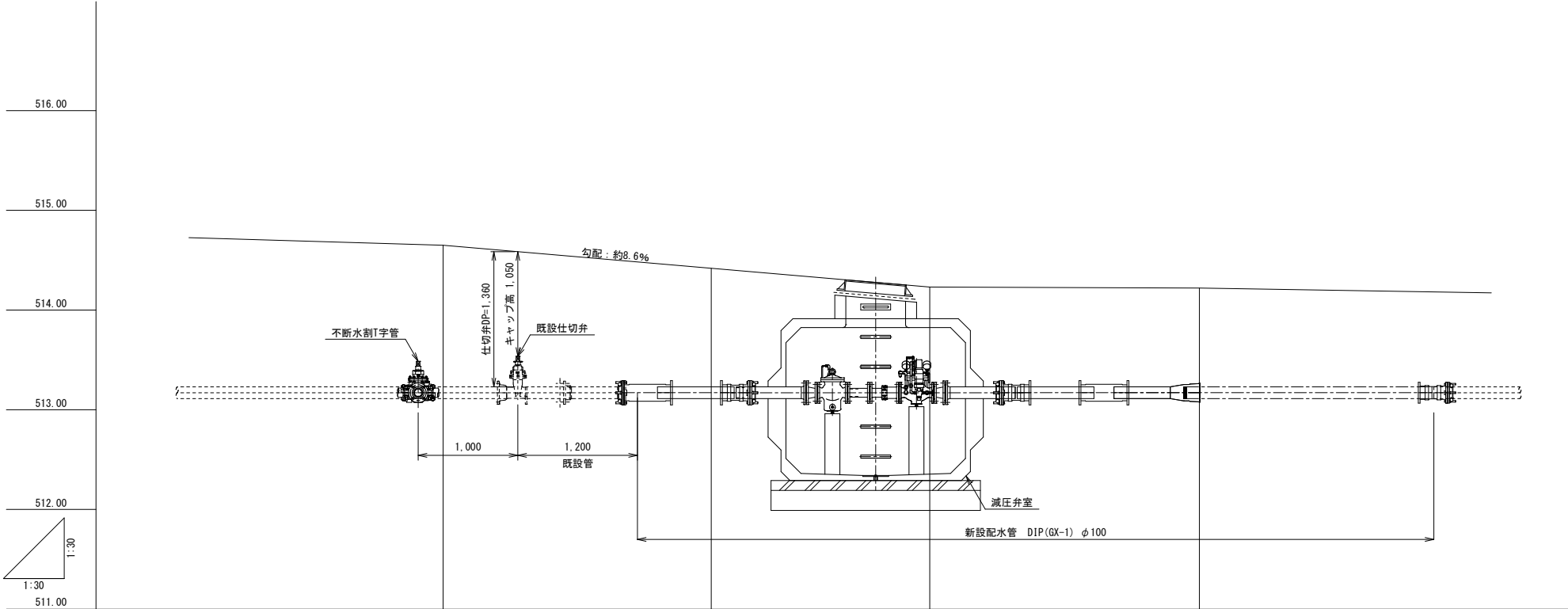
計画平面図 S=1:100



※地形線は、基盤地図情報および現地測量結果を基に復元したものである。

事業名	本海野減圧弁移設工事		
図面名称	計画平面図		
縮尺	1:100	図面番号	1
事業者	東御市		9

縦断面図 S=1:30

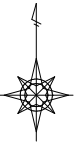


As						
管径延長 管 種	配水管 DIP(GX-1) φ100mm L=1.0m		減圧弁室詳細図 参照		配水管 DIP(GX-1) φ100mm L=4.2m	
土被り	1.43	1.36	1.18	1.00	1.00	
管天高	513.23	513.23	513.23	513.23	513.22	
管中心高	513.17	513.17	513.17	513.17	513.17	
地盤高	514.65	514.59	514.41	514.23	514.22	
追加距離	0.00	0.75	2.70	4.90	7.60	
点間距離	0.00	0.75	1.95	2.20	2.70	
測点	No.0	No.0	No.0+2.7	No.0+4.9	No.0+7.6	

※1 地盤高は水道台帳に記載の標高を基準に算出しているため、
詳細な地盤高は別途調査が必要である。
※2 埋設管の土被りは既設仕切井のキャップ上部より算出したものである。

事業名	本海野減圧弁移設工事		
図 面 名 称	縦断面図		
縮 尺	1:30	図面 番号	2
事業者	東御市	9	

減圧弁設置詳細平面図 S=1:50



国道
As

バームガーデン

駐車場

As

新設バイパス管 DIP(GX-S) $\phi 75$ L=15.7m
±E1 L=7.1m
±E2 L=4.6m
±E9

既設下水管 $\phi 200$
既設配水管 $\phi 75$

As

既設下水管 $\phi 200$
既設配水管 $\phi 100$

歩道
As

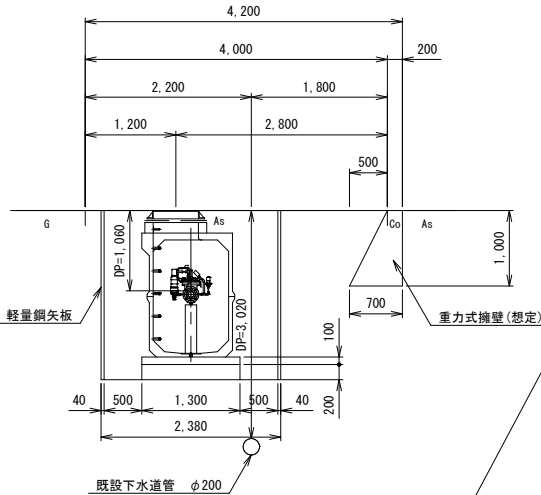
市道
As

As

HAIR WORK 40RD

減圧弁詳細図 参照
既設鉄管撤去 $\phi 100$ L=6.0m、 $\phi 75$ L=2.0m
±E3 L=4.2m
新設配水管 DIP(GX-1) $\phi 100$ L=4.2m
給水①
新設給水管 PEP $\phi 20$
新設配水管 (GX-1) $\phi 100$
給水② 止水栓接続
±E8
±E4 L=1.0m
新設配水管 DIP(GX-1) $\phi 100$ L=1.0m
±E10
既設下水管 $\phi 150$

A-A横断面図

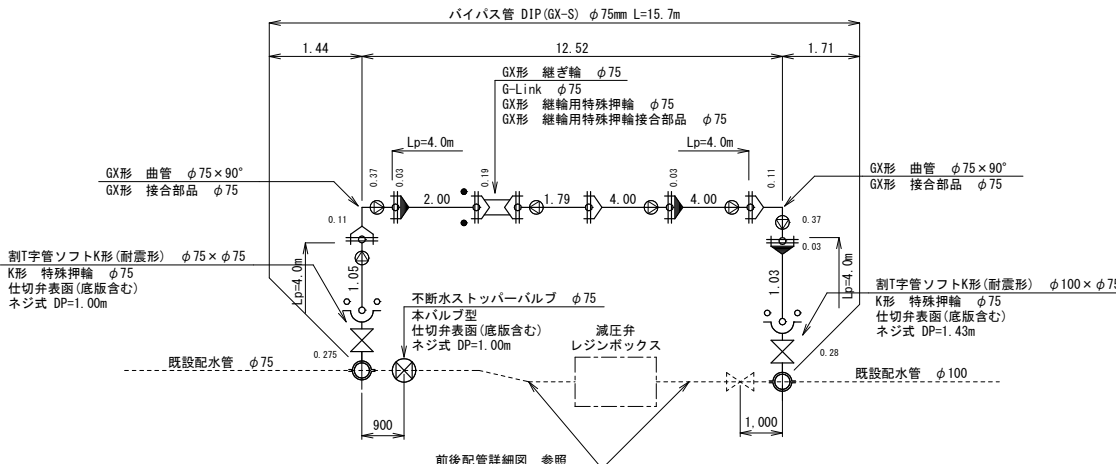


※地形線は、基盤地図情報および現地測量結果を基に復元したものである。

事業名	本海野減圧弁移設工事		
図面名称	減圧弁設置詳細平面図		
縮尺	1:50	図面番号	3
事業者	東御市		9

配管詳細図 S=FREE

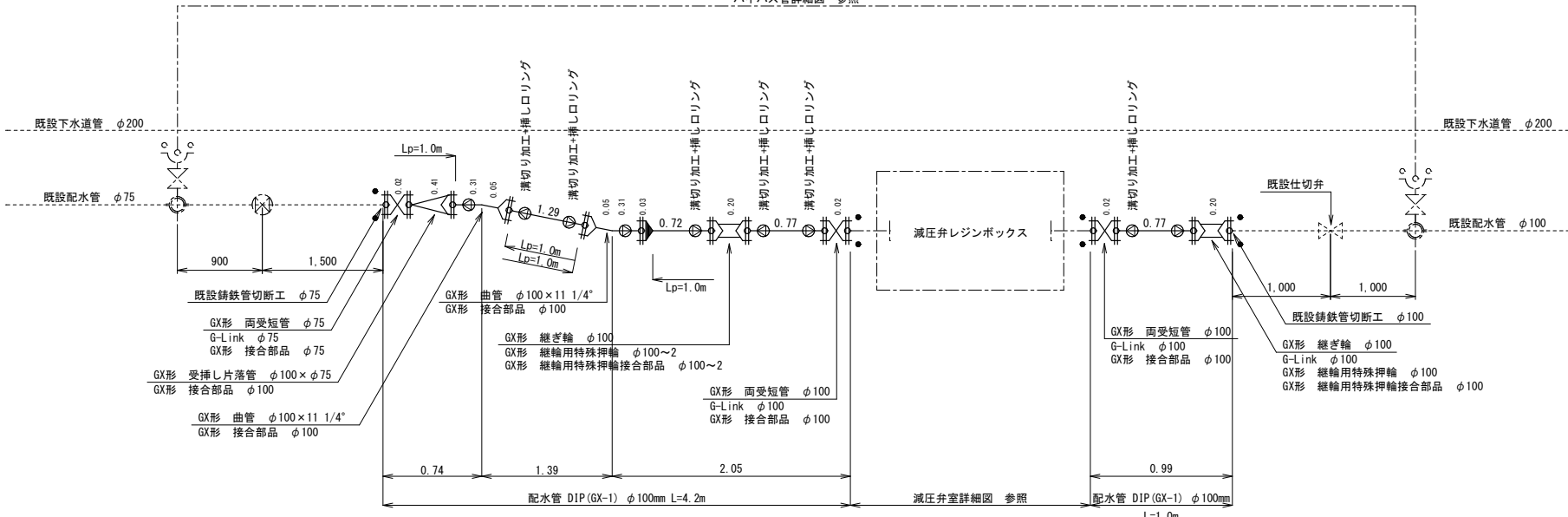
バイパス管詳細図

DIP (GX-S) $\phi 7$ 

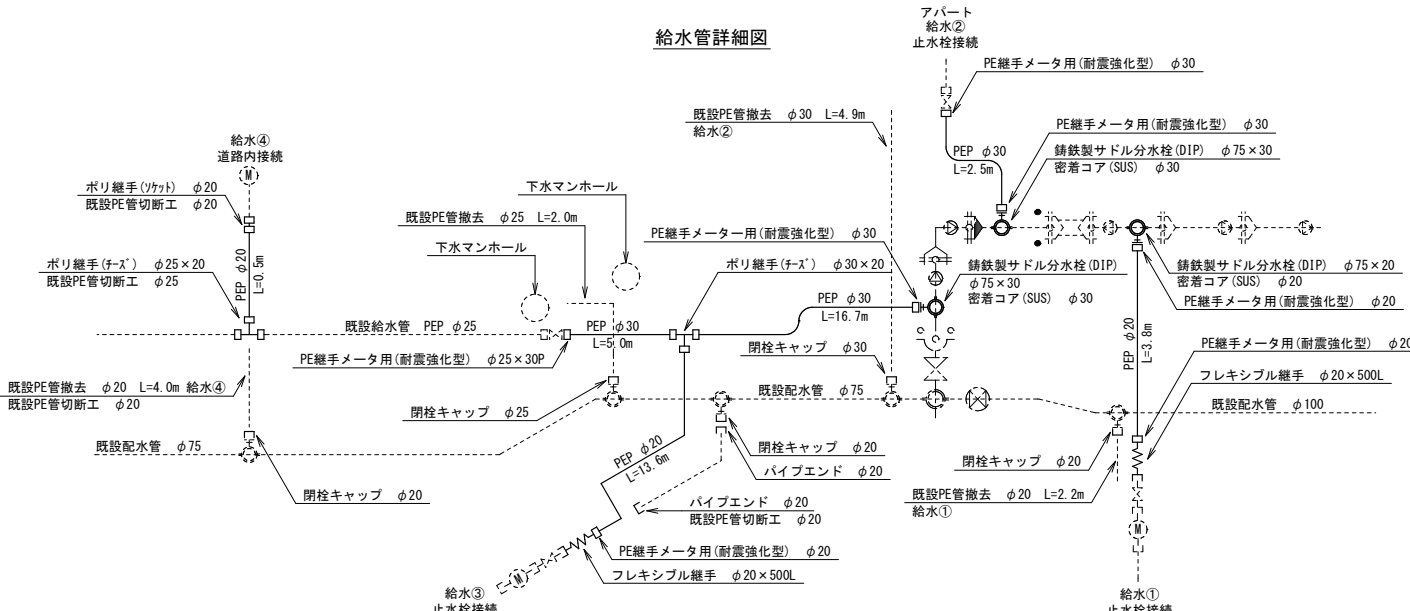
前後配管詳細

DIP (GX-1) $\phi 10$

バイパス管詳細図 参照

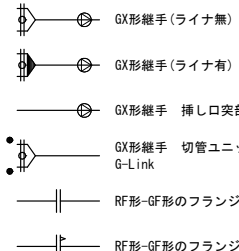


給水管詳細図



設計水圧 $P=1.15\text{MPa}$
($0.60\text{MPa}+0.55\text{MPa}$)

目例(ダクタイル鉄鉄筋) GYⅡ



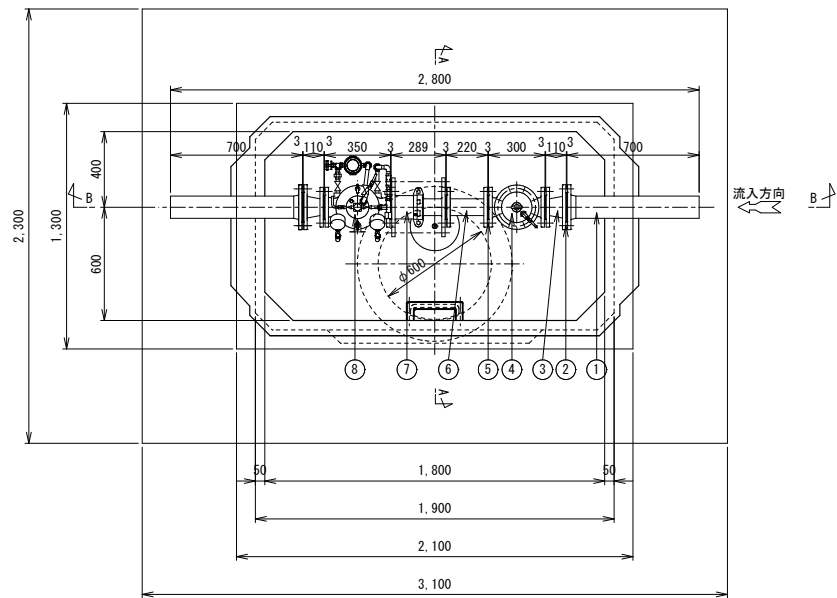
※1. Lpは、一体化長さを示す。一体化長さの範囲内にGX形の伸縮部（ライナが無い直管受口、継ぎ輪）は、設けないこと。但し、継ぎ輪は、G-LinkまたはGX形継ぎ輪用特殊押輪（管端に挿し口突部必要）を使用しない場合は除く。

※2. GX形のフレンジ継手材は、1号ガスカートまたは2号ガスカートを使用。

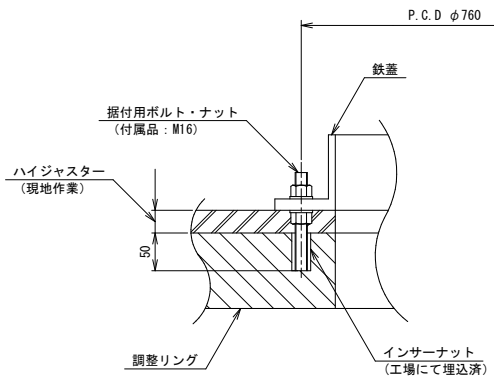
事業名	本海野減圧弁移設工事		
図面名称	配管詳細図		
縮尺	FREE	図面番号	4
事業者	東御市	図面番号	9

減圧弁室詳細図

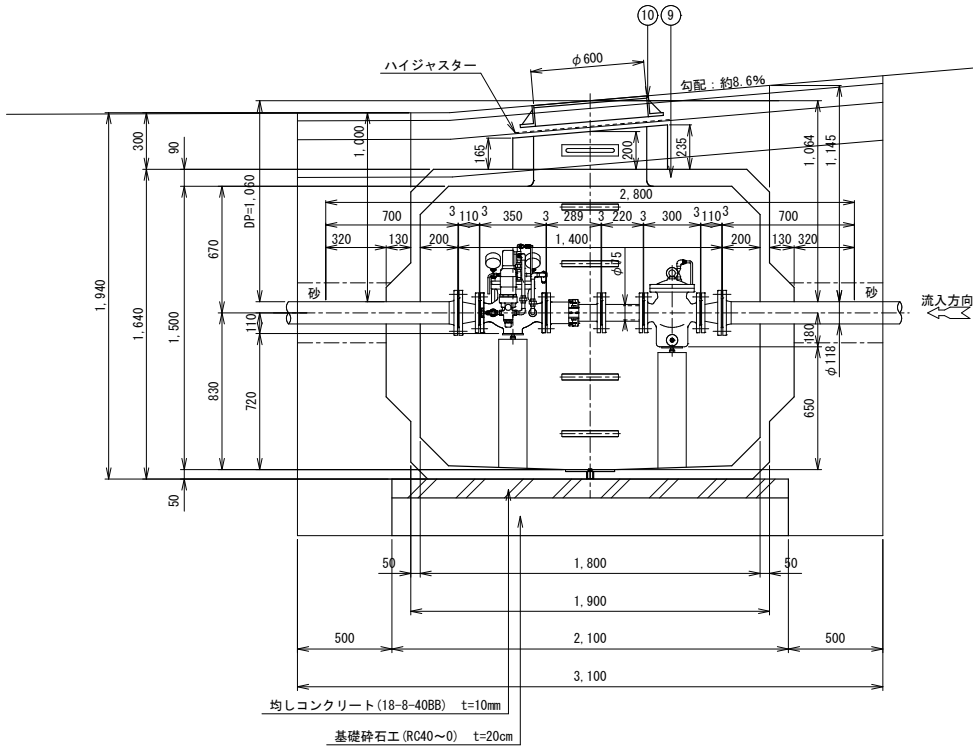
平面図 S=1:20



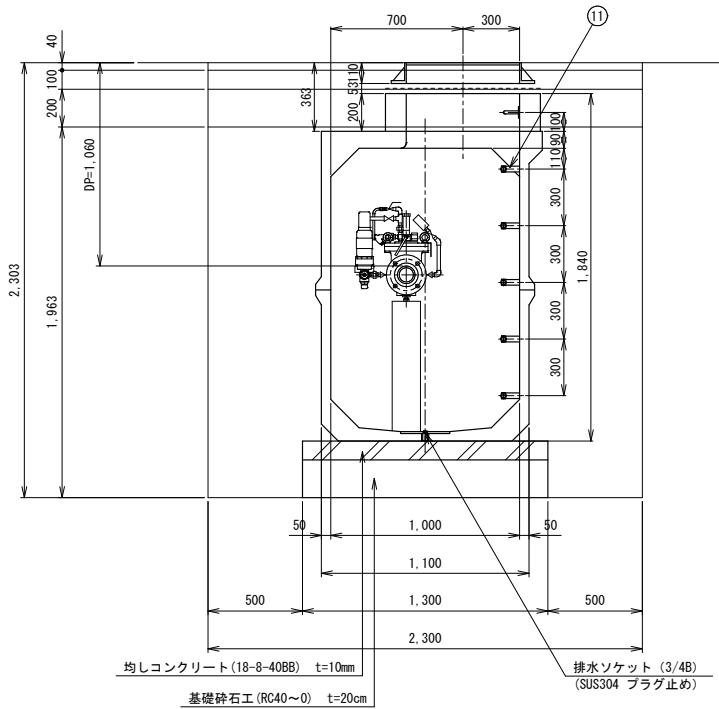
鉄蓋取付 S=1:5



B-B横断面図 S=1:20



A-A横断面図 S=1:20

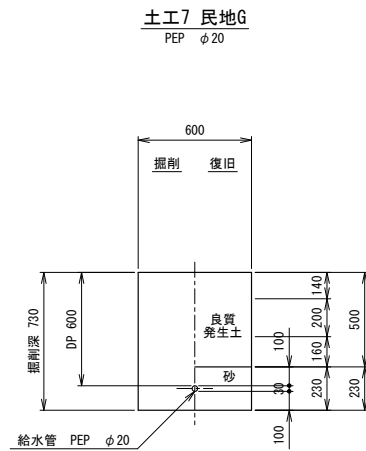
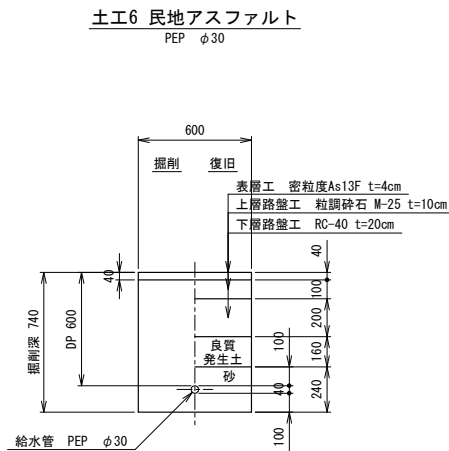
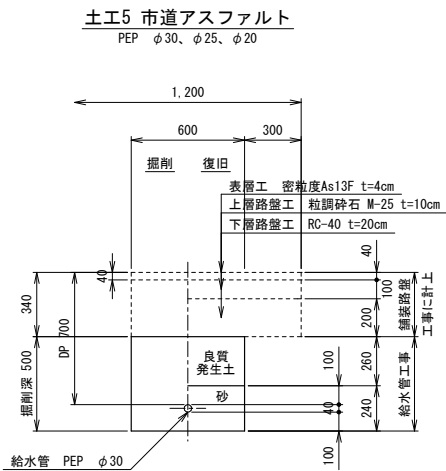
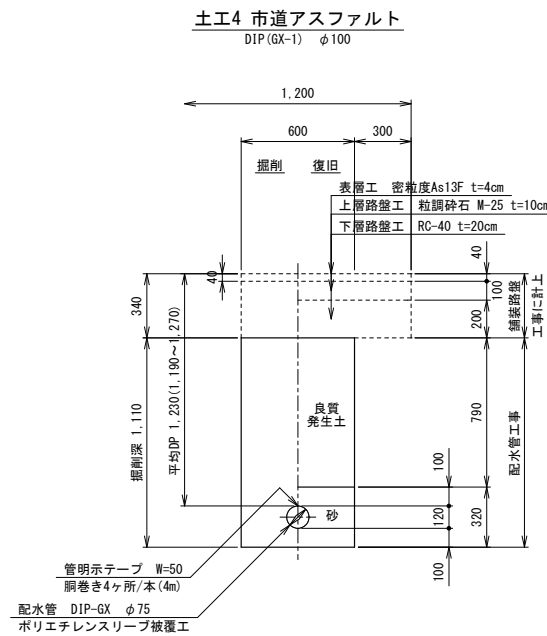
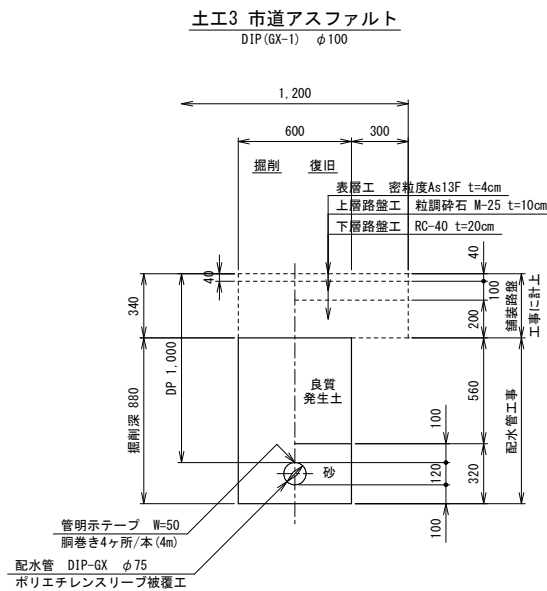
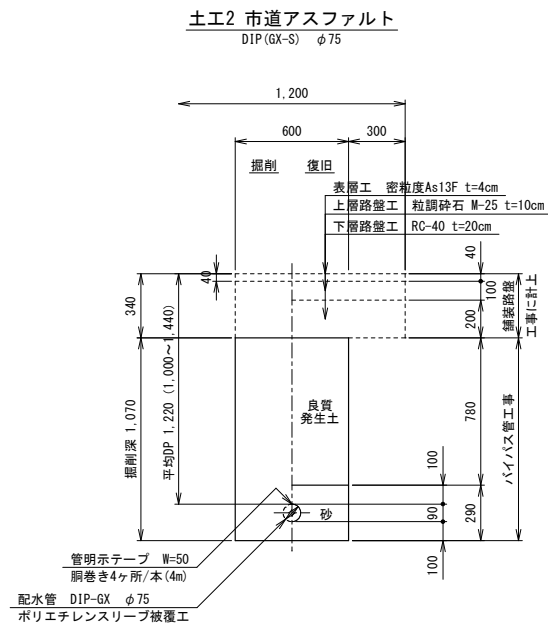
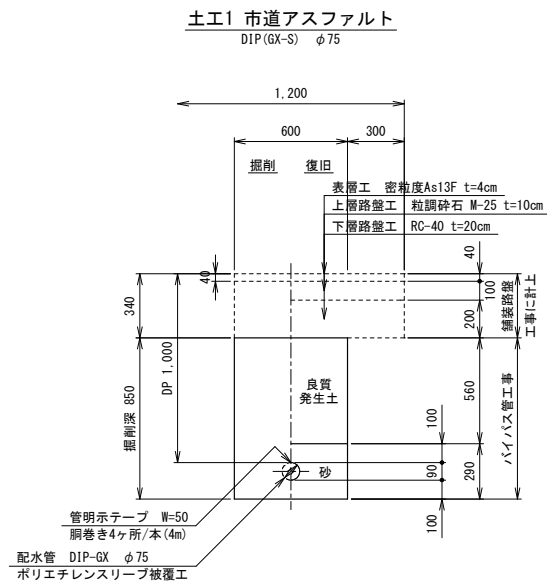


1	FCD製 K形短管2号	2	埋込部塗装剥離品 F=7.5K/RF φ100×700L
2	フランジ接合材	2組	B.N.W=SUS304 φ100 F=7.5K/RF
3	NC製 片落管	2	F=7.5K/RF φ100×φ75×100L
4	ストレーナー SU-C型	1	φ75
5	フランジ接合材	5組	B.N.W=SUS304 φ75 F=7.5K/RF
6	NC製 両フランジ短管	1	F=7.5K/RF φ75×220L
7	NC製 伸縮管 EXR-FA型	1	タイロット付、F=7.5K/RF×RF φ75×289L ±40mm
8	減圧弁	1	MRF-100型 φ75
9	HS-2特・一体型ハイレジコンビット	1	1800L×1000W×1500H 管上土被り=1064H
10	鉄蓋（開閉用バール付）	1	
11	昇降用ステップ	5段	

- (注) 1. 鉄蓋の据付は据付用ボルト・ナット(付属品)3ヶ所で路面レベルに
合わせ調整固定し、ハイジャスター打設を行って下さい。
2. 基礎工は通常、砂利または砕石基礎工を、地盤の悪い場所では、
コンクリート基礎工を行って下さい。
3. 配管のレベルは、水平に設置下さい。
4. ハイレジコンビットの製造上の許容寸法を±で示します。
ハイレジコンビットの埋設は、許容寸法を考慮して行って下さい。
5. ハイレジコンビットの各部の形状、位置など現物とは異なる場合が
あります。
6. ハイレジコンビットはT-25荷重設計とする。

事業名	本海野減圧弁移設工事		
図面名称	減圧弁室詳細図		
縮尺	1:20, 1:5	図面番号	5
事業者	東御市	9	

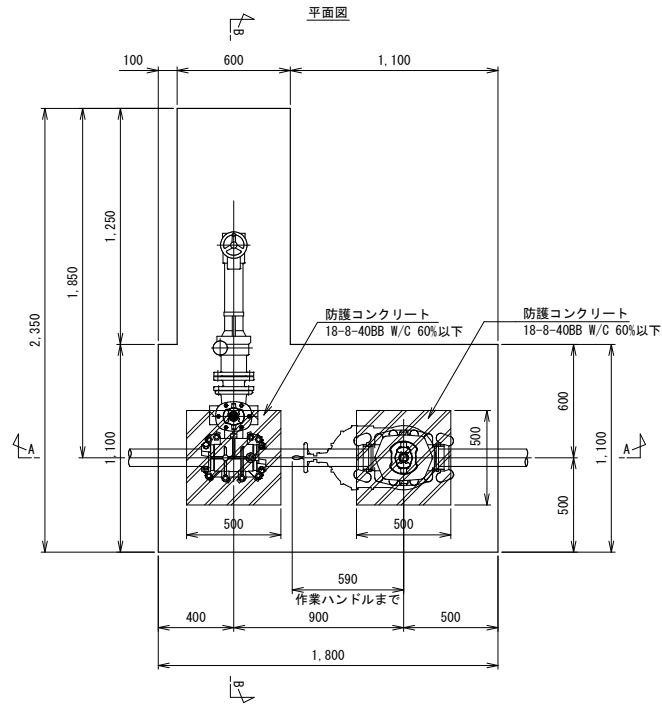
土工標準断面図(1) S=1:20



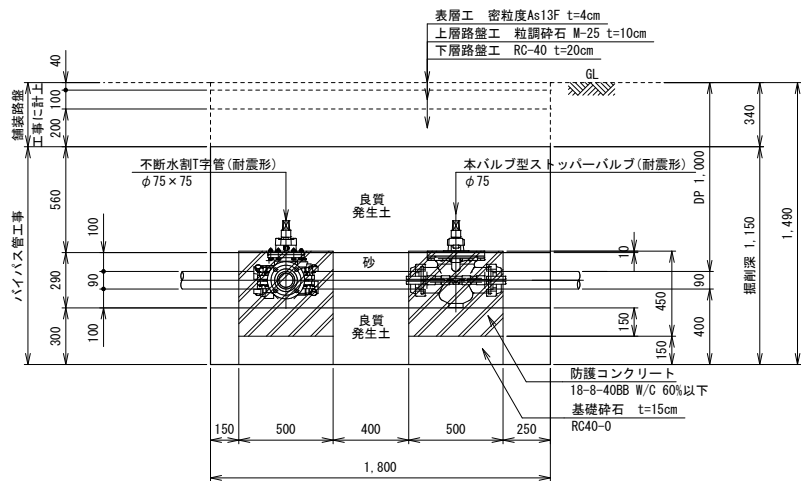
事業名	本海野減圧弁移設工事		
図面名称	土工標準断面図(1)		
縮尺	1:20	図面番号	6
事業者	東御市		9

土工標準断面図(2) S=1:20

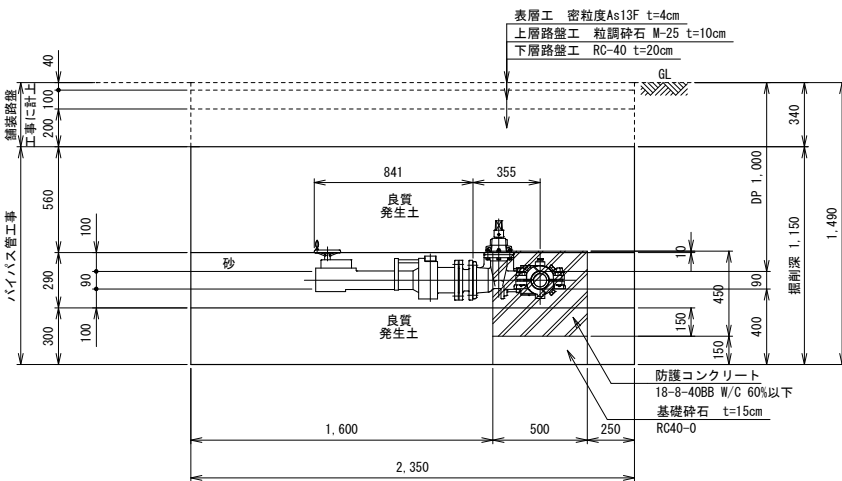
土工8 市道アスファルト
不排水割I字管(耐震形) φ75×75
不排水ストッパーバルブ(耐震形) φ75



A-A横断面図



B-B横断面図



土工数量表

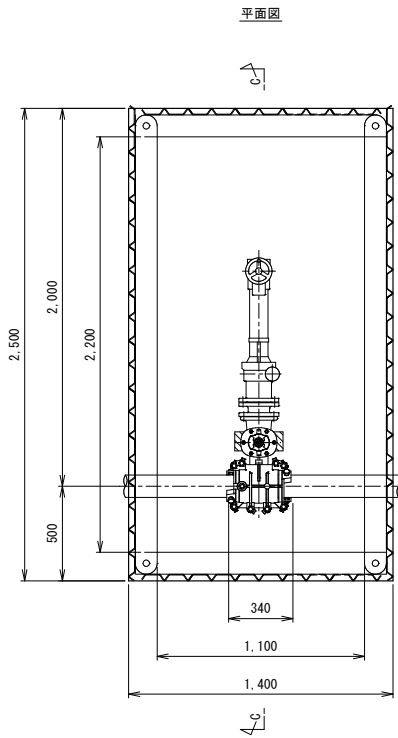
掘削	$((1.10 \times 1.80) + (1.25 \times 0.60)) \times 1.15H$	m3	3.14
砂埋戻	$((1.10 \times 1.80) + (1.25 \times 0.60)) \times 0.29H$	m3	0.79
発生土埋戻	$((1.10 \times 1.80) + (1.25 \times 0.60)) \times (0.30H + 0.56H)$	m3	2.35

控除数量表

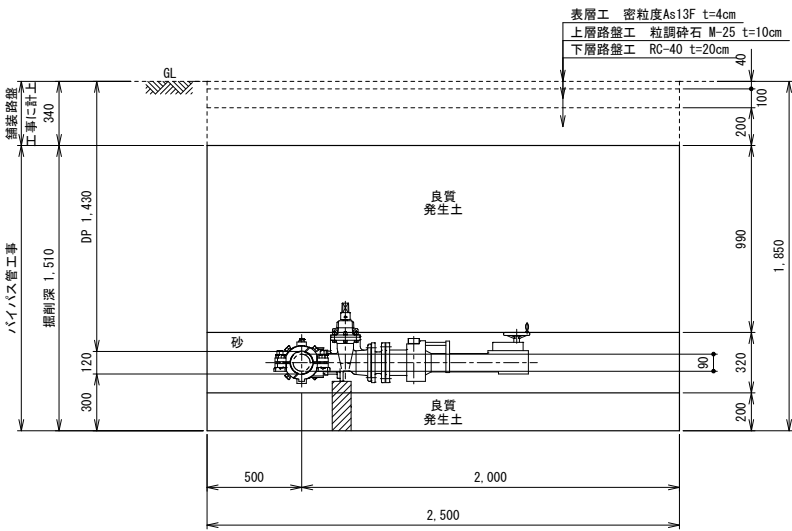
防護Co(砂埋戻)	0.50×0.50×0.29H×2箇所	m2	0.145
防護Co(発生土埋戻)	0.50×0.50×(0.15H+0.01H)×2箇所	m2	0.08
基礎砕石(発生土埋戻)	0.50×0.50×0.15H	m2	0.0375
既設管管積(DIP-K φ75)	0.09 ² ×3.14/4	m2	0.0064
新設管管積(DIP-GX φ75)	0.09 ² ×3.14/4	m2	0.0064

土工9 市道アスファルト
不排水割I字管(耐震形) φ100×75

平面図



C-C横断面図

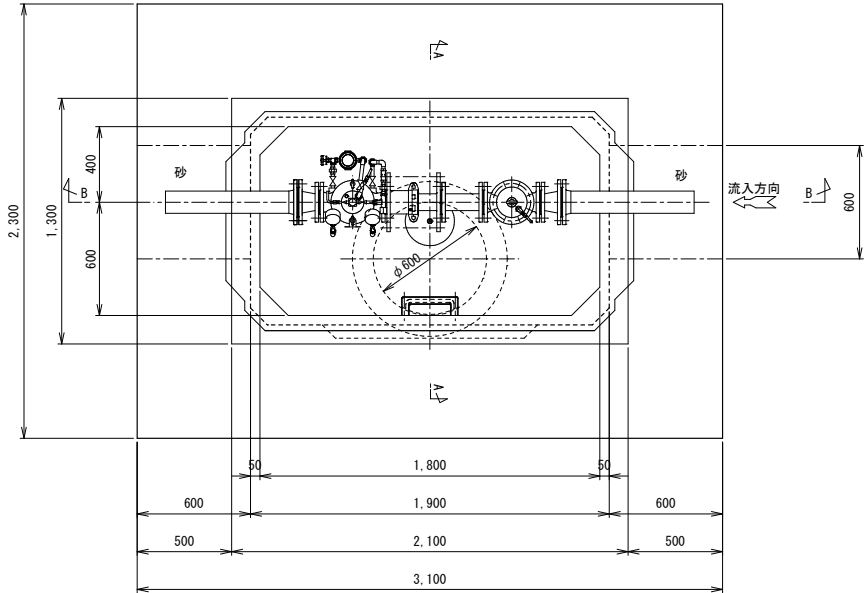


※バルブは埋め戻してから操作すること

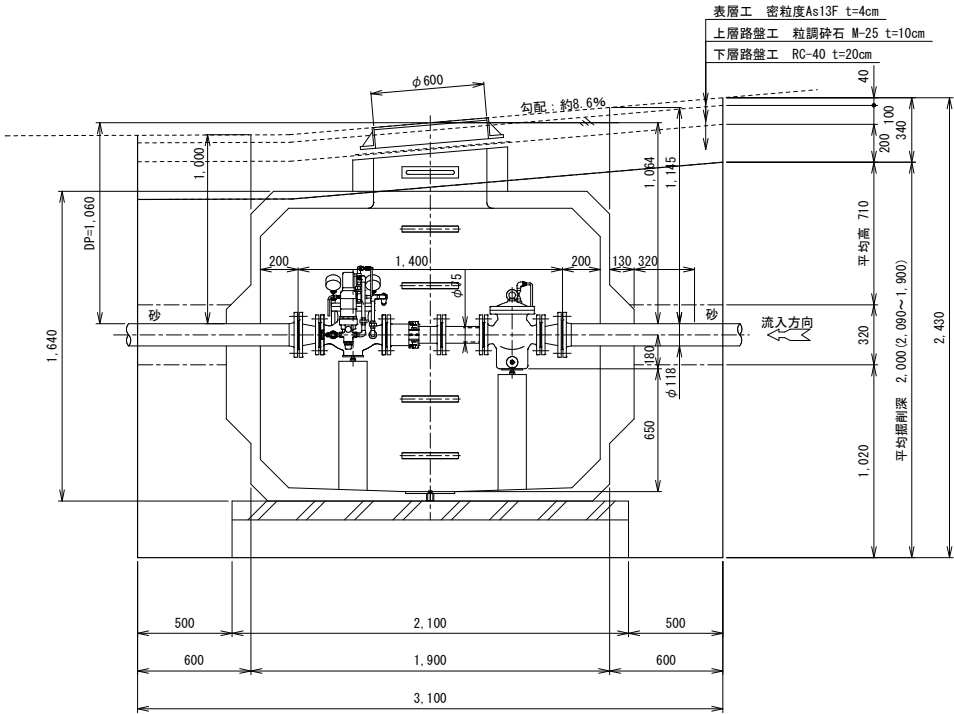
事業名	本海野減圧弁移設工事		
図面名称	土工標準断面図(2)		
縮尺	1:20	図面番号	7
事業者	東御市		9

土工標準断面図(3) S=1:20

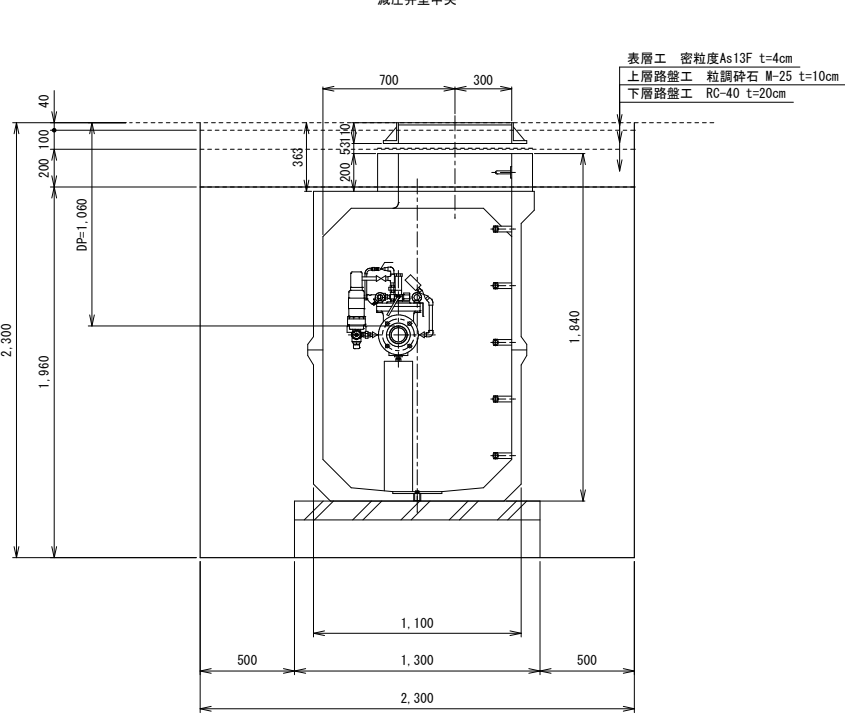
平面図 S=1:20



B-B横断面図 S=1:20

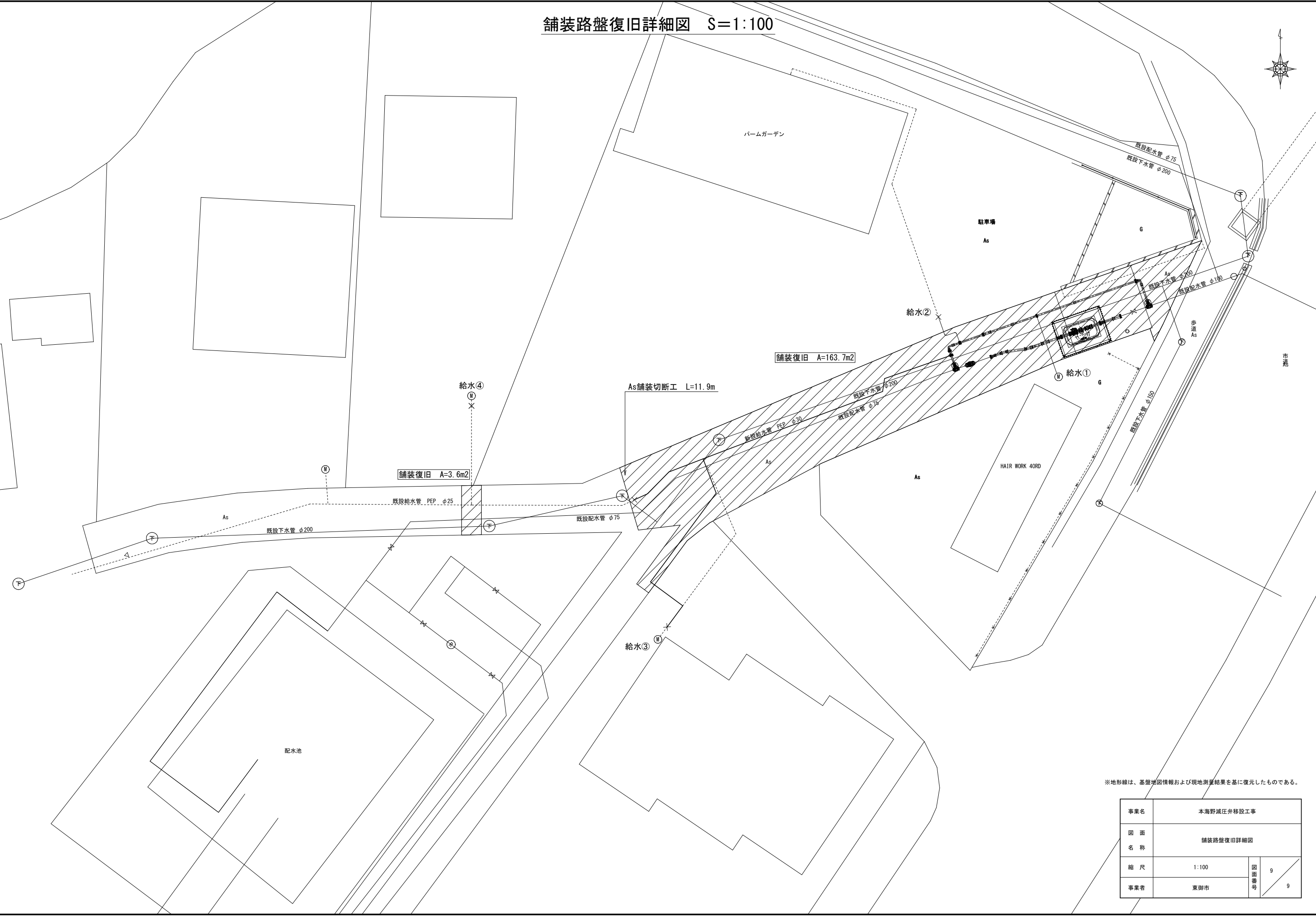


A-A横断面図 S=1:20



事業名	本海野減圧弁移設工事		
図面名称	土工標準断面図(3)		
縮尺	1:20	図面番 号	8
事業者	東御市		9

舗装路盤復旧詳細図 S=1:100



※地形線は、基盤地図情報および現地測量結果を基に復元したものである。

事業名	本海野減圧弁移設工事		
図面名称	舗装路盤復旧詳細図		
縮尺	1:100	図面番号	9
事業者	東御市		9